

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 ☎045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

やどりき水源林・森の案内人 (定例) 観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。
 やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

涼を求めて「やどりき水源林」へ



水源林のゲートを過ぎると、木陰とさわやかな風、そして寄沢からは涼しげなカジカガエルの声が迎えてくれます。

カジカガエルの雄が石の上で鳴きながら縄張りを主張しています。それとも雌にアピールかな。

涼んでいると、鳥の声も聞こえてきます。
 水源林内をゆっくり歩いてみましょう。



バイカウツギ



ホオジロが餌を運ぼうとしているところに遭遇しました。近くの巣ではヒナが待っているのかもしれませんが。こちらが見ている間はじっとしていました。

ちょう 蝶



モンキチョウ



ダイミョウセセリ



コジャノメ



アカタテハ (幼虫)

アカタテハの幼虫はイラクサの葉を綴って巣をつくります。この幼虫は口から糸を出しながら、葉から葉へと何回も頭を動かしていました。これから巣を作り直すのでしょうか。



水生生物の研修会



5月12日に、夏休み中の「森の案内人」や8月3日の「水源林の集い」で実施されるイベントに備えて、かながわ森林インストラクターの会の水生生物の研修会が水源林内で行われました。小さな生き物が沢山いました。

・・・水辺での遊びを楽しむために・・・
水量が膝より上の場合は動きが取りづらくなります。お子さんの動きには目を離さないでください。またビーチサンダルなど流されやすい履物は、事故につながります。上流の雨による急な増水などにも注意しましょう。



<6月の水源林>

○白いウツギや黄色いジャケツイバラが6月初旬まで楽しめます。

○雨の後はヤマビルが元気になります。草むらや積もった落ち葉に踏み込む際には注意しましょう。



ウツギ



ジャケツイバラ